

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	政務活動費補助金				2 担当課名	議会事務局		
3 予算科目	款	1	項	1	目	1	事業コード	0101
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H13	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市議会政務活動費の交付に関する条例						
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	dその他		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	会派若しくは会派に属さない議員							
10 補助金の目的	議員の調査研究その他の議員活動に資するため							
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	議員としての政策立案能力の向上							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	研修会への出席、他市への視察、図書等の購入 等							
13 積算根拠の有無	有							
14 積算の考え方 計算式	22,500×21人×12ヶ月							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体	—	—						
人数	—	—						
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	4,509	4,939	5,670					
合計	4,509	4,939	5,670					
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金	市	0	0					
助成金	その他	0	0					
事業収入	0	0						
会費	0	0						
繰越金	0	0						
その他	0	0						
合計	0	0						
市の補助金の割合								

補助金名称	政務活動費補助金	担当課名	議会事務局
-------	----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H24. 25 年度
3内容	交付額の変更25,000⇒22,500			

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	政務活動費補助金	担当課名	議会事務局
-------	----------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	議員活動に資するため
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	×	条例により、交付額が定められているため
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	×	条例により交付されるため
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	議員としての政策立案能力の向上
2達成状況	議員としての提案能力、質疑能力の向上が図られている

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	議員としての資質の向上が図られている

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	議員の資質向上のため必要な経費であるため	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			